

ごみ問題

問 合意が得られなかった場合は

答 一旦広域連合に返すのがすじ



宮尾幸典議員

【ごみ処理施設問題】

問 二巡目の住民説明会の時期等について伺います。

村長 この6月25日の飯森地区を皮切りに、7月16日の内山・佐野・沢渡地区まで、13会場で実施します。

問 住民の意見集約については、二巡目の住民説明会が終わった8月から9月にかけてという理解でよろしいでしょうか。また、手法については、これまでの一般質問の中で、アンケート調査で行なう旨の答弁をされていますが、この考えに変わりはない

りませんか。さらに、対象者についても、これまでの答弁では、18才以上とされていると思いますが。

村長 住民の意見集約については、時期を定め、アンケート調査により行なう考えです。対象者については、現在の考えでは、20才以上とする予定です。

問 5月12日に、村内の二つの団体から「建設

場所の確定はともかく、ごみ処理場は、白馬村にとって必要不可欠の施設であり、このため、ごみ処理施設の村内における建設を強く要望する。」という内容の要望書が提出されました。「場所はともかく、ごみ処理施設を白馬村内に」という要望書の趣旨を汲んで、広域連合側と折衝の上、白馬村内に絞って候補地を選定するというようなことが可能なのでしょうか。

村長 現在の候補地について、住民合意が得られなかった場合は、一旦広域連合に戻して再検討すべきであり、仮に村内に絞って候補地を選定するにしても、その場所が100%村民合意が得られるという保障のない限り、広域連合側との話し合いをする考えはありません。

【道路問題】

問 「日本海・関東首都圏連絡道路」(新川

白馬ルート構想)を白馬經由の(長野市く富山市ルート構想)とするため、長野市、県等と折衝すると共に、村長の重要政治課題として積極的に取り組む考えはありませんか。

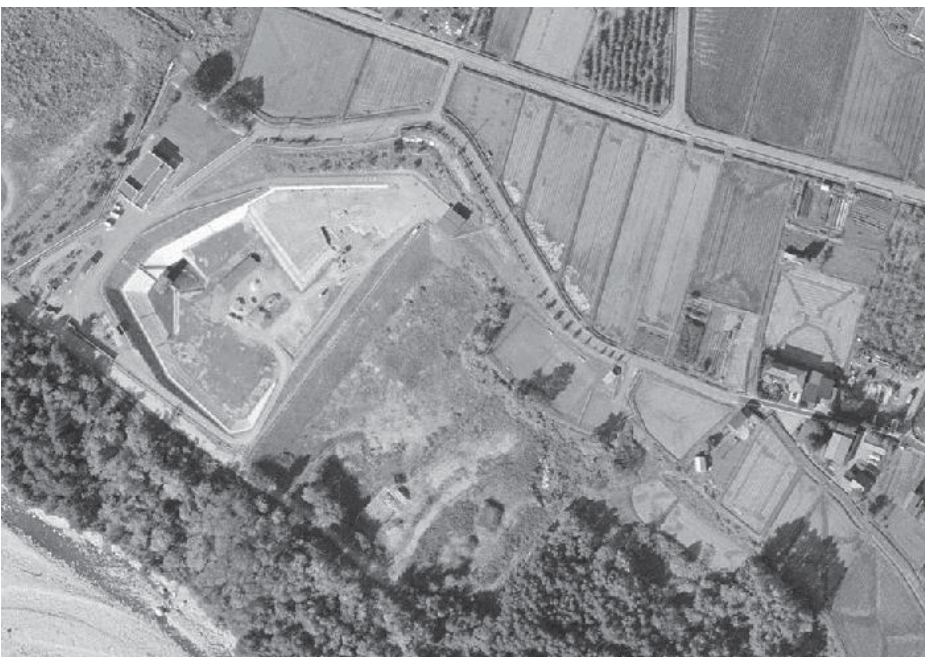
村長 「日本海・関東首都圏連絡道路」は白馬村にとって魅力のあるものですが、それよりもまず、「松本く糸魚川連絡道路」の建設を最優先

して進める必要があります。

【福祉問題】

問 「白馬村障害福祉計画」を関係者の意見を聞いて、見直しする考えはありませんか。又、「障害者の害をひらがなに改める運動」を、推進する考えはありませんか。

村長 「白馬村障害福祉計画」については、障がい者の意見を反映するため、必要な措置を講じてまいりたいと思います。後段につきましては、障がい者の皆さんが望むものであるならば、白馬村でも順次切り替えていく事としたいと思えます。



広大な面積の大町市最終処分場